

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			指導制作スペースとして50㎡を確保しています。ロッカーなども完備しております。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			児童発達支援管理責任者、児童指導員など、3名以上を常時配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			エレベーターの完備、入口のバリアフリー化が行われております。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			個別支援計画、管理者の指導、スタッフ間の周知連絡、気付いた事の共有など常に行っております。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			常に授業後に保護者様とお話しさせていただく時間を設け、お子様の指導に関する要望などをこまめにお聞きし、スタッフ間で共有しています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			特定非営利活動法人ma-maのホームページにて常に公開します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			相談支援事業所との連携を行い、モニタリングの聞き取りなどの結果を業務の改善に繋げております。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			新人研修、スタッフ研修、外部の説明会への参加など、常に職員の資質の向上に努めております。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			児童発達支援管理責任者と児童指導員の間で保護者様からの要望などを十分に話し合いそれを分析、反映させた個別支援計画の作成を行っております。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			報告書などで常にお子様の状況を報告し、またそれを本部にてアセスメントを適切に行い、さらにそれを職員へフィードバックしております。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			児童発達支援管理責任者と児童指導員を中心に常に情報の共有化とプログラムの作成を行っております。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			アートを通じての療育を目指し、平面作品(絵画など)立体作品(工作、粘土など)常に新しいカリキュラムを月毎に作成しております。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇などは利用日数も増えることが多くカリキュラムを消化してしまったお子様には、独自課題などの提供を行っております。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			周囲に集中力をそがれたり、他のお子様の課題に興味が引張られる。音に敏感など、お子様の特性に合わせて、席の位置距離など調整しております。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝、その日いらっしゃるお子様の個別支援計画、前回の制作の記録、以前指導した指導員からの申し送りなどを確認し、職員間で打ち合わせを行ってから授業に臨んでおります。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後、授業内での気付き、お子様の情報を共有し、打ち合わせを行い、必要であれば後日の指導員に申し送り、報告書などの形で連絡、周知しております。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎回の授業毎に制作の記録を記入し、支援の検証・改善に努めております。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的に相談支援事業所とのモニタリングを行うと共に、毎授業終了後、保護者様との話し合い、お子様のご様子の報告を行い、必要があれば個別支援計画の修正もその都度行っております。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			アートを通じての療育を目指し、お子様、保護者様の心と寄りそいながら、希望があれば専門のスキルを持った美大、芸大出身者の技術的指導も受けることができます。ルール、マナーについても指導を行っております。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者もしくは児童指導員のなかから、最も授業の担当回数が多いものや保護者様との情報交換、ご相談をし、お子様の状況に精通した者が参加しております。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○		個人情報に係ることは、基本的には学校では無く保護者様との情報共有、連絡調整(トラブル発生時の連絡等)を行う事で対応しております。どうしても必要な際は保護者様の了解を得たうえで学校との情報共有も適切に行います。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現時点では医療的ケアが必要なお子様の通所、ご利用はございません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	当事業所が児童発達支援事業所も兼ねております。相談支援事業所との情報共有、相互理解は進めさせていただいております。保育所や幼稚園等との連携は基本的に保護者様を通じてのやりとりのみとさせていただきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	個人情報は慎重にあつまっているため、保護者様が当事業所での記録を移行先へ渡したいとのご意向であれば必要書類を複写の上保護者様経由での提供となります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			児童発達支援管理責任者が必要な助言、研修を受けております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			Mスタジオという名称で障がいを持たないお子様も通所なさっておりますので、共に制作したりコミュニケーションをとる機会がございます。
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			お子様や事業所の情報に最も精通した職員が積極的に参加させていただき、地域の福祉局、相談支援事業所、他の事業所間との連絡、情報交換、改善策の検討など行わせていただいております。	

	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			毎授業後に保護者様とお子様のその日のご様子、課題への取り組みをご報告しておりますし、保護者様からの要望、懸念事項、問題点なども話し合い、共通理解を深めるよう心がけております。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			毎回の授業後の保護者様からのご相談や情報交換などで、お子様の問題行動への対処、保護者様自身の心のケア、アドバイスなど支援を行っております。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			運営規定、支援の内容、利用者負担等については契約時に書面を用いて詳細に説明しております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者様からの相談は毎回の授業後に時間を設けて随時受け、児童発達支援管理責任者および児童指導員を交え適切に助言、支援を行っております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	事業所と保護者間の連携はとるように心がけているが、保護者間の連携を支援する活動は行っていません。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情については、書面に記録を残した上で、管理者、児童発達支援管理責任者、児童指導員を含めて対応を検討し、保護者様とも密接に連絡を取り、迅速かつ適切に対応するようにしております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			必要な情報の連絡等については、周知用のお手紙などを用いてその都度お知らせしております。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報には慎重に取り扱い、施錠可能な保管場所にて厳重に保管しております。複写なども保護者様にお渡しする分以外は取っておりません。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			指導時は常にお子様とのコミュニケーションを重視し、授業後は保護者様との話し合い、報告、相談の時間を設けさせていただいております。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域に開かれた事業運営を目指し、常に努力を心がけております。
非常時	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			緊急時、防犯、感染症などへの対応マニュアルを策定し、職員や保護者様への周知も行っております。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			職員が災害、防犯マニュアルにそって、定期的に内容の確認、訓練を行っております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			新人研修および定期的な研修を通じて、障がいへの理解を深め、その配慮をし、原則として、身体拘束などおこなわず、研修を行います。安心、安全を心がけております。

等 の 対 応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		お子様自身の行動による危険物への接近。自傷行為。特定のお子様の暴力衝動によって、他のお子様へ危険が及ぶ場合、などの緊急事態を除いて身体拘束は行っておりません。契約時に説明させていただき、ご理解いただいております。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	授業中の飲食は、水分補給用の水筒を持参して頂いております。授業中の食事のサービスは提供しておりません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		資料を作成し、定期的に職員の情報共有、研修を行っております。